

# 矢作ダム



今号の表紙【矢作ダム周辺の見どころ・遊びどころ】



## 道の駅 信州平谷 信州平谷温泉 ひまわりの湯

[長野県平谷村]

国道153号沿いにある「道の駅 信州平谷」。広々とした露天風呂が人気の『信州平谷温泉ひまわりの湯』や子供連れでも楽しめる『温水プール』など充実した施設も併設され、訪れる方々を楽しませています。また、夏には平谷村のシンボル「ひまわり畑」を間近に見ることが出来ますよ。



●問い合わせ先 道の駅 信州平谷 TEL.0265(48)2102  
信州平谷温泉 ひまわりの湯 TEL.0265(48)2911

### 特集

水源地域のみなさんと矢作ダムが地域の発展を実現するために共同で取り組む **矢作ダム水源地域ビジョン**

### 連載

- 矢作川流域の方々との出会いでつづる／流域オンライン⑦ 岡崎市立河合中学校
- 矢作ダム最新情報／矢作ダム見学 参加者募集



## 水源地域ビジョンとは

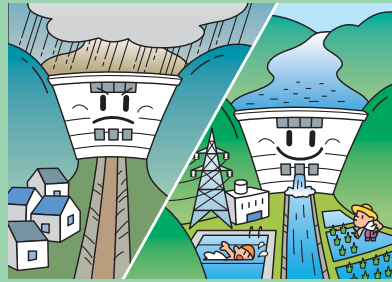
平成13年度より全国の国土交通省のダム、水資源機構のダムで策定が進められており、平成16年度末現在、100ダム中、76ダムで策定が終了しています。

### 21世紀のダムのあり方

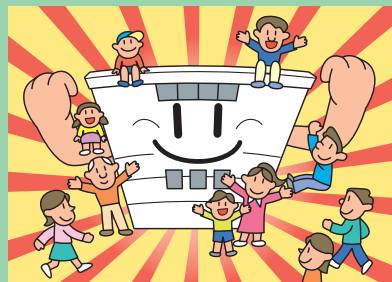
今までの治水・利水という『ダム下流域』に対する機能だけでなく、地域活性化の核として『水源地域』に活用される施設として機能することが求められています。

#### 21世紀のダム

##### ●治水・利水



##### ●地域活性化の核



### 水源地域ビジョン

水源地域ビジョンは、プラン創り、実行のための行動計画を、水源地域の自治体や住民などとダムの管理者が『共同』で提案・策定し、実現していきます。



## 『水源地域ビジョン策定委員会』で決定した以下の計画にそって、これから活動を展開していきます。

### 行動計画

●行動計画は基本理念に沿った3つの柱に分かれています。

#### 活動の柱 ① 水源地域の交流と連携を推進する活動

[活動テーマ]

活動テーマ	活動内容
地域内交流の推進と上下流域住民の交流と連携	水源地域各地区の既存イベントとの連携 地域内での相互名勝めぐり(水源地域再認識ツアー) 地域内温泉めぐり 図画・作文コンテスト各種展示会、発表会の共同開催
都市住民との交流	山野の散策ツアー、野鳥観察ツアー
スポーツ・レクリエーションの推進	ウォーキングコースの選定・紹介
地域情報の発信・PRの推進	インターネットの活用、パンフレット・チラシの作成、イベント情報等の発信 流域市町村や関係期間の広報媒体の活用 ポスターの作成、広域観光パンフレットの充実整備 地域内の花・木の開花時期に関する情報発信 「矢作水源フォレストランド」のホームページの作成
交流拠点の活用	道の駅・交流施設・観光拠点施設などの相互活用
リーダーボランティアの育成、人的資源の活用	地域住民が持つ経験や技術、知識を観光資源として活用
水源地域の連携意識の向上プラン	ダム水源地域内の周遊マップの作成 水源地域内の統一的な看板の計画・作成

#### 活動の柱 ② 水源地域の歴史文化を大切にする活動

[活動テーマ]

活動テーマ	活動内容
歴史・文化の学習プログラムの推進	地域の歴史・文化のワークショップ、豆記者の学習会
暮らし体験プログラムの開発	伝統行事体験
山村文化体験と再発見、歴史文化資源の活用	地域の伝統芸能の伝承活動に関する情報発信

#### 活動の柱 ③ 水源地域の資源を大切にする活動

[活動テーマ]

活動テーマ	活動内容
自然とのふれあい空間の創出	自然観察会 自然体験会
矢作水源ブランドの開発・認定(特産品・ビューポイント、史跡等)	「矢作水源フォレストランド」推奨品、推薦ビューポイント、選定史跡・原風景の認定 山菜、川魚の料理などの産地直送販売の開拓(ブランド品の開発)
水辺空間での体験・学習プログラムの展開	アユの友釣り場の保全と多様な釣り場の提供 ダム湖及びダム湖周辺施設の利活用のためのルール策定と啓蒙
魅力あふれる山と森の創造と環境保全	樹木等の里親制度づくり 景観クリーンアップ、景観ポイントの選定・紹介 奥矢作湖周辺ビューポイントの選定・紹介・整備 流木アート作成・展示会 流木を利用した炭焼き体験と活用 複層林化の推進
環境保全のための人材育成	森林ボランティアの募集・育成
水源地域内河川の環境保全	水源地域内の河川環境保全ルールの策定と啓蒙
自然愛護プログラムの展開	ゴミの持ち帰り運動 美化活動

楽しい計画が  
いっぱい予定  
されているヨ  
みんなも  
参加してネ!



●活動内容の内、色文字の項目は平成18年度から平成20年度の期間での活動を予定しています。

中でも『ホームページの作成』と『水源地域周遊マップの作成』『パンフレット・チラシの作成』は平成18年度の活動を予定しています。

### 矢作ダム水源地域『共通名称』

## 矢作水源フォレストランド

広域な矢作ダム水源地域は愛知・岐阜・長野の3県にまたがる広域エリアでこれまで当該地域を対象とした共通の地域名称はありませんでした。水源地域が一体となって活動を行う矢作ダム水源地域ビジョンの策定にあたって、まず矢作ダム水源地域の共通名称が必要ではないかとの考えから、矢作ダム水源地域ビジョン策定委員会では、矢作川水源地域が共有する誇り得る森林資源のイメージから共通名称を『矢作水源フォレストランド』と名付けました。

### 基本理念

〈基本理念五ヶ条〉

わごころの交流を楽しみ、矢作ダム水源地域の活性化を計る。

地域の歴史文化と伝統を誇りとする。

豊かな森林資源と清流矢作川を誇りとする。

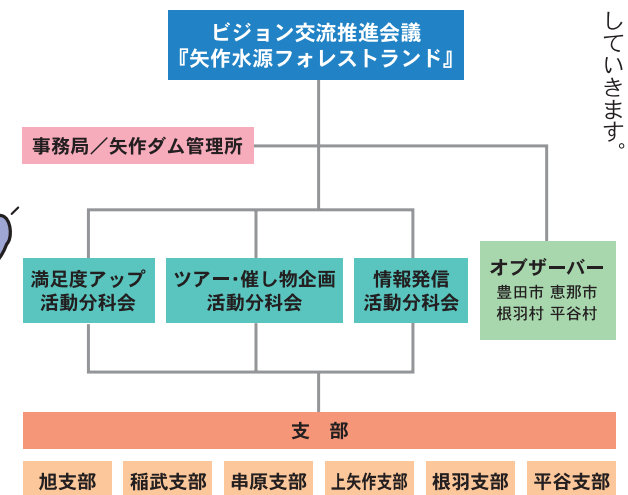
人を慈しみ、自然を慈しむ、やすらぎの郷を誇りとする。

山の幸、水の幸に恵まれたふるさとを誇りとする。

### キャッチフレーズ

## 地域の歴史文化と暮らしを大切に 水と緑の郷

### ビジョン推進のための組織



交流推進会議は、6つの地域の住民により構成される3つの分科会、6つの支部と事務局(矢作ダム管理所)、オブザーバー(関連4自治体)で組織され、今後の行動計画及びその活動内容を決定し、実施していきます。

いよいよスタート  
しました！

水源地域のみなさんと矢作ダムが  
地域の発展を実現するために共同で取り組む

# 矢作ダム水源地域ビジョン

## 矢作ダム水源地域ビジョン策定に至るまでの流れ



平成16年に水源地域内の観光、地場産業、歴史文化などの資源調査を行い、平成17年には矢作川流域の市町村に対してアンケートによる意識調査を行いました。また、策定委員会の開催に先立って、3回の策定準備委員会と2回の合同分科会を開催して準備を進めました。平成18年に2回の水源地域ビジョン策定委員会を開催し、水源地域の住民代表、行政関係者、学識経験者と矢作ダム管理所から約20名が出席するなか、これまで計画されたビジョンの骨子及び行動計画(案)を基に、具体的な活動方針などを決定しました。今後は、この計画にそって活動を展開していきます。

矢作ダム水源地域ビジョンとは、矢作川水源地域の人々が交流を深め、連携し、地域が誇る豊かな自然や文化、そして矢作ダムを活用して、地域の発展を図ることを目的に、矢作川流域住民と自治体、矢作ダム管理所が共同で水源地域の自立的・持続的な活性化を計るためのプランとそのプランを実行するための行動計画を提案・策定し実現することです。

水源地域ビジョンは、自治体の枠を越え水源地域の未来を住民自らの手で築いてゆくためのプランづくりです。参加者の真剣なまなざしからは、水源地域ビジョンに対する期待の大きさがうかがえるようです。



矢作ダム水源地域は、長野県平谷村、同根羽村、岐阜県恵那市上矢作町(旧上矢作町)、同串原(旧串原村)、愛知県豊田市稲武(旧稲武町)、同旭(旧旭町)の6つの地域です。





## 岡崎市立 河合中学校 [岡崎市]

昭和41年から続く  
生徒たちの手によるホタル飼育

## 地域と連携した活動システムが継続の秘けつ

「この河合でもホタルが見れなくなってきた。昔の環境に少しずつでも戻していこう」と、当時、天然記念物に指定されていた美合町から幼虫を分けてもらい飼育をスタートしたのが昭和41年です。しかし、ホタル飼育に関する知識や技術など全くなく、分けてもらった幼虫は10日間程で全滅。最初は失敗の連続だったようです。

飼育が軌道にのった5年後ぐらいから、1〜1.5センチ程度まで育てた幼虫を近くの男川、乙川（両方『おとがわ』と呼びます）へ毎年交互に放流し続けています。

「飼育を始めた後、しばらくして各支川などに自然発生的に保存会ができ、学校では飼育と放流まで、その後は各地区の保存会で育てていくという「システム」が生まれてきました。

天然記念物の指定は全国で3番目ですが、すでに先の2箇所はホタルの発生が見られず、現在ではホタルの棲む「番古い」指定地がこの河合地区。学校の活動だけに止まらず、地域との「連携」があったからこそ、ここまで活動を続けることができたのではないかと。

ホタルのエサになるカワニナの飼育、家庭排水をなるべく流

さないようにすること、学区内全戸がホタルの「保存会員」となるなど、河合中学校から始まったホタルの保存活動は、地域ぐるみの活動として広がり、根付いています。

## 少子化で現在活動メンバーは3名

「部活動のひとつですから、今までは卒業までまったくホタルの世話をしない生徒も正直いました。でも、せっかく河合中学校に来たのにホタルのことを何も知らないではもったいない。今年度（平成17年度）から、1年生は1週間ずつ交代で全員ホタルの世話を経験しています。また、自宅近く、すぐ目の前の川にホタルがいるかどうかも知らない生徒も大勢いた。当たり前のことで気にもとめないのでしょうか。これも今年度から、全校生徒に数取器を持たせてホタルの数を数えています」

「ホタル、ホタルと騒いでいるけど本当はたくさんいた」と再認識する子供もいたようです。

「冬は水が冷たくて大変。でもみんなと一緒だから楽しい」ご多分にもれず少子化による生徒数減少が悩みの河合中学校。3年生が卒業し現在の活動メンバーは3名です。もっと楽しい活動になるよう4月にはたくさんの方々の新部員が集まると良いですね。



## 自然科学部が飼育を担当

現在メンバーは3名。放課後の部活動として幼虫の飼育、川の水質調査などを行っています。写真は水換え作業。筒の中で幼虫は育てられています。



## エサのカワニナも飼育

エサになるカワニナもこのプールで育てています。毎年9月には『供養の会』も行っています。



## 手作り看板でホタル愛護をPR

ホタルの飛翔時期を控えた5月には、ホタル愛護を呼び掛ける手作り看板を設置しています。



岡崎市立河合中学校 TEL.0564-47-2012



## ゲンジボタル幼虫放流式

毎年4月に育てたゲンジボタルの幼虫を川へ放つ『放流式』を行っています。

ゲンジボタルの幼虫



## ゲンジボタル幼虫飼育舎

奥の建物が『ゲンジボタル幼虫飼育舎』。手前には飼育開始十周年を記念した石碑が立てられています。

# 矢作ダム 最新情報

## 矢作ダム見学の申込を受け付けています。

矢作ダム湖面にも新緑の鮮やかに映える春の訪れです。  
矢作ダム管理所では、矢作ダムのことをもっと良く理解していただく、  
ダムをもっと身近に感じていただこうと、ダム見学を行っています。  
普段見ることのできない『ダム内部』もご案内します。ぜひ、ご参加ください。お待ちしております。

## 矢作ダム見学 参加者募集

矢作ダムの役割や機能などをご紹介するダム見学に参加してみませんか。  
写真やパネル、ビデオなどによる説明のほか、  
実際にダム操作室やダム内部を見ることができます。  
下記の応募ガイドにしたがってご応募ください。

- 募集日時** 平日  
時間／9:00～15:00
- 見学内容** パネル・ビデオ等による説明と操作室やダムの中の見学
- 所要時間** 1時間程度



中学生以下の見学の場合、必ず保護者の同伴をお願いします。交通手段としては、各自でお願いいたします。日程調整後、こちらからご返答いたします。業務の都合上必ずしも対応できない場合もありますのでご了承下さい。

### 応募ガイド

●応募方法は2通り

- 1 矢作ダム管理所へ電話で応募  
TEL.0565-68-2321
- 2 インターネットで応募  
<http://www.cbr.mlit.go.jp/yahagi>

下記内容を確認させていただきます。

- ① 希望日時……○月○日 ○時～○時
- ② 見学人数……○名 ※1回の見学につき2～50名
- ③ 代表者氏名
- ④ 代表者連絡先…昼間連絡の取れる電話番号
- ⑤ 見学目的……社会見学、○○学習会
- ⑥ 見学団体名……○○水道局、○○学校

※注) 台風など状況によっては中止する場合があります。

#### お問い合わせ先

国土交通省中部地方整備局 矢作ダム管理所  
TEL.0565 (68) 2321 FAX.0565 (68) 2328

●インターネットで応募される場合の手順

1 矢作ダム管理所ホームページにアクセス

2 バナーをクリックしてダム見学のページへ

3 参加申し込みページ。必要事項を記入して送信すれば申込完了。



## 国土交通省中部地方整備局 矢作ダム管理所

〒444-2841 愛知県豊田市閑瀬町東畑67  
TEL.0565 (68) 2321 FAX.0565 (68) 2328  
(ホームページアドレス) <http://www.cbr.mlit.go.jp/yahagi>

### 編集後記

今号の『矢作だむっこ』いかがでしたでしょうか？水源地域ビジョンの策定がいよいよスタート。水源地域が一体となってより発展することが期待されます。今回は、前号の特集『矢作ダム大図解』でも紹介した矢作ダムの施設・設備を間近に見ることのできる、ダム見学の申込方法をお知らせしました。ぜひ、これを機会にご参加ください。また、アンケートハガキでみなさんのご意見やご感想をお寄せください。お待ちしております。

●矢作ダム管理所広報誌「矢作だむっこ」は以下の場所で入手できます。

愛知県／豊田市、旭支所、稲武支所、下山支所、足助支所、藤岡支所、小原支所  
岡崎市、碧南市、安城市、西尾市、一色町、吉良町、西三河農林水産事務所、豊田加茂建設事務所、西三河建設事務所、知立建設事務所  
岐阜県／串原振興事務所、上矢作振興事務所、恵那建設事務所 長野県／根羽村、平谷村